



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.12.21 No. 3325

第24回定期委員会「JR体制」の危機をきり 「91・3ダイ改」-「6万人体制」を打倒しよう!

万全のスト体制確立へ!

動労千葉第二四回定期委員会は、一月二日五日千葉県労働者福祉センターにおいて開催され、「九一・三ダイ改」-合理化業務移管攻撃阻止、動労千葉根絶攻撃粉碎へ向けた当面する闘いを、組織の総力をあげてストライキをも辞さず闘い抜く方針を満場一致確認した。議長に新小岩支部・的場代議員を選出したあと、冒頭あいさつに立った中野委員長は、今秋闘争―政治反動との闘いは、協力法案をテコとした自衛隊海外派兵、即位の礼・大嘗祭を頂点とする、「日の丸・君が代」を掲げた天皇制攻撃との対決であった。

これは八〇年代「戦後政治の総決算」攻撃の終決戦としての攻撃であったと言える。

われわれは共同行動委員会の結成と行動の中から、こうした大政治反動に抗して敢然と闘いを貫徹してきた。

来年三月ダイ改攻撃―業務移管をめぐる動向は、三・六協定未締結という状況の中で、可能な限り押し込んで来た。

成田空港乗り入れなどストをやっても影響の出ない状況、ダイ改を通し



動労千葉第24回定期委員会

た動労千葉を根底から叩きつぶしていく攻撃に対し、われわれは万全なスト体制を構築することを通して闘ってきた。さらに不当極まりない業務移管攻撃には、ストライキ体制をもって粉碎していくことを、本定期委員会を期して宣言する。「JR体制」との攻防は、食うか食われるかの状況であることをはっきりと認識しなければならぬ。

分割・民営化の破綻を示す新たな情勢が出されてきている。整備新幹線について鉄道建設基金により捻出し、現行のリースされていく新幹線を本州三社が買いあげるといふものである。国鉄改革法によって、三〇年間にスによって貸し出し、三〇年後に帰属を決めるとあったものを売り払うと言っているのである。何のたのめ分割・民営化であったのか?この矛盾はさらに拡大するであろう。現場では、こんなに株式市場―持ち株制度による社員株の募集を、JR当局への踏み絵として強制的に押し進めている。これは、企業意識の注入・骨身を削って働かせようことを最大の狙いとするものである。

「JR体制」は今や、分裂・亀裂の時に突入した。東海・西日本における公然とした革マル排除に見られるごとく、旧動労と国鉄官僚による蜜月時代は終えんに向かっている。一月四日に行われたJR東労組定期中央委の中で、松崎は東海・西日本の会社幹部を口ぎたなくのしり、断固として処断しなければならぬと叫んでいる。この情勢を切り拓いたものこそ、われわれの数波にわたるストライキの威力なのだ。三月ダイ改は、限度を越える大変な合理化攻撃

である。一月一日には、出札窓口の時間設定や精算窓口の廃止を中心とした営業関係の合理化が強行された。検修関係では、交検のキロタイプ廃止が提案され、ユニットごとの作業体制へと改悪されている。西日本においては、スリット勤務の導入が提案され、要員にはねかえらない時短・週

「JRは絶対に許せない」

活発な討論・総反撃の闘いへ!

ト葉第24回定



①持ち株制度の実態につ

「JR体制」の矛盾と弱点を突ききり、労働者が安心して働ける職場・労働条件の獲得へ、奮闘していこうではないか!

②土岐反動区長との対決と弾劾行動の成果
③三月ダイ改の状況について
④ユニット交換の問題点
⑤キロタイプ廃止の安全上の問題について
⑥JRが職場で行っている安全会議について
⑦線見助動操縦について
⑧携帯トイレの配布・ロングラン問題について
⑨貨物協議会結成と闘いについて、等々つきつ